一学年だより

Ｎｏ，１４

令 和 ８年　１０月３０日
太宰府市立太宰府西中学校
文　責　：　江崎　彰泰

後期中間考査に向けて

～ 勉強には、あなたの人生を切り拓く力がある ～

間もなく中間考査が行われます。本気でテスト勉強に取り組んでいるでしょうか？

さて、人生には、いろいろな困難や壁がやってきます。「歯が立たない」「もうだめだ」と感じたときに、あきらめて投げ出すか、歯を食いしばって頑張るかが運命の分かれ道です。

『限界だと思ってからが挑戦である』（アイルトン・セナ）

勉強は、この挑戦に必要な**「根っこの忍耐力」**をつけるためのトレーニングです。勉強で大切なのは、最後のもうひと踏ん張り、最後のしぶとさ、ダメだと思ったところからいかに頑張れるかなのです。「もうできない」「こんな問題はとけない」「こんなにたくさん覚えられない」と思ったときからどう頑張るか。テストの結果で泣くか笑うかは、いつもの勉強のラストから５分、最後の最後に踏ん張れる「踏ん張り力」にかかっています。



あと１問頑張って解く。あと１ページ頑張って読む。日々の勉強の積み重ねが、最後まであきらめない「根っこの忍耐力」を養ってくれます。

勉強によって、あきらめない力を身につけていきましょう。

我慢できる人であること

自立して、メシを食べるためには、何かの仕事を続けなければならない。そのために最低限必要なのは**「我慢できる人」**であることなんだ。

試験というハードルに向けて、決まった期限のなかで、毎日とても楽しみではすまない量のことを覚えたり、練習問題をしたり復習したり、期限まで耐えてがんばることで、それは鍛えられる。

勉強でも、スポーツでも、みんな何かの我慢が必要だよね。そこで我慢できる人は、最低限仕事はあるのかなと思うよ。もたない人は、少しきついことから逃げたいといったようなことで理由をつけて、すぐ仕事を辞めてしまうんだ。

それをはかる意味で、受験のための勉強をくぐり抜ければ、それが「目の前のやるべきことから逃げず、最後までやり抜いた」という証明書になる。

また、受験の先には職業選択があるけれど、そこにはすべてにふるいがあって、それぞれに基準があって、通過するためには勉強した人しか入れませんよ、という社会の仕組みになっている。たとえば大卒以上というように、一定の学校や学部を出た人のみ、といったかたちで学歴がなければ就けない仕事もあるんだ。

高濱正伸著：未来を切り拓く！数学は「働く力」

大人は**「勉強しておけばよかった」**という思いか、**「勉強しておいてよかった」**という思いのどちらかを、誰しも持っています。あのとき勉強しておかなければよかったと思うことはありません。

勉強を続けることは大変です。時に悩んだり、迷ったり、投げ出しそうになったりします。でもそれは皆さんががんばっている証です。

勉強をする意味や価値はあるのか。その答えは勉強をしていく中で一人ひとりが見つけることができます。苦しくても前進していけば、答えは見つかります。しなければ見つかりません。

「合唱」でのまとまりを「日常生活」のまとまりへ



中学生になって初めての文化発表会が終わりました。まずは、実行委員、指揮、伴奏、パートリーダーなど、学年のためクラスのために役割を果たしたみなさん、お疲れさまでした。そして、ありがとうございました。特に、伴奏者の５名のみなさん、夏休みから約３ヶ月間、毎日伴奏の練習を続けてきたと思います。合唱コンクールのために、自分の時間を一番使って努力したのはあなた達です。本当にありがとうございました。箏曲部、吹奏楽部、コンピュータ部、英語スピーチ、探究タイムなどのステージ発表や展示作品も素晴らしかったですね。

合唱コンクール本番は、どのクラスも最後のリハーサルより、まとまりやハーモニーなどが向上していました。３組はコンクールのトップバッターだったので、他のどのクラスよりも大きな緊張感を抱えての合唱だったと思います。そんな中での金賞はお見事でした。そして、１組はインフルエンザでたくさん欠席者がいる中での合唱。たった２０名でしたが、休んだ人の分まで精一杯歌う姿には心が打たれました。銀賞おめでとうございます。

練習を始めた頃はまとまりがなく、みんなバラバラでした。やる気がなく、ふざけて練習していた人もいたのではないでしょうか。約１ヶ月の間に、音楽の授業や「総合」の時間、そして２回のリハーサルを通して、少しずつクラスの合唱を創り上げてきました。個人で歌詞と音程を覚えることから始まり、まずはパートでの練習。少しずつ声が大きくなり、音程がそろい、パートの一体感が創られていきました。

そして、クラス全体での合唱練習に移り、声量バランスの調整、強弱やのばし方などを確認しながら、何度も何度も歌いました。パートリーダー達が少しずつ本気になり、それに引っ張られて本気で練習する人が１人、２人と増えはじめ…。さらに、「金賞を取りたい」「より素敵な合唱にしたい」という雰囲気がクラスの中に生まれ、まとまりが創られてきたのです。

歌うことが好きな人や得意な人がいれば、歌が苦手で歌うことが嫌いな人もいる。バラバラでまとまりのないところから、いろいろありながらも時間をかけて練習を繰り返し、１つの曲をクラスみんなで創り上げる…。これが、合唱コンクールの魅力であり素敵なところだと思います。だからこそ、毎年たくさんの保護者の方が楽しみに見に来られ、みなさんも感動したり、悔しい気持ちになったりするのです。



「一人ではできないことをみんなで力を合わせて作り上げることの楽しさ」をこれからもたくさん味わえる仲間、学年を創っていきましょう。

福岡県新人大会出場、おめでとう！！

筑前地区新人大会出場、おめでとう！！

●男子バレーボール部 【筑紫区準優勝】　●女子バスケットボール部【筑紫区準優勝】
●男子剣道部 【団体戦　筑紫区6位】

保護者のみなさまへ

文化発表会では、お忙しい中、多くの保護者の皆様に足を運んでいただき、心より感謝申し上げます。子ども達の歌声や姿はいかがでしたか。多くの保護者の皆様に見守られる中、合唱を披露させていただけたことを大変ありがたく思います。

また、先週はインフルエンザの流行による学級閉鎖が相次ぎ、ご迷惑とご心配をおかけしました。１１/６(金)の中間考査に向けて、お子さまへの叱咤激励と体調管理をよろしくお願いいたします。